

組合訪問

前橋市一般廃棄物処理 事業協同組合

今回訪問した前橋市一般廃棄物処理事業協同組合は、前橋市内の一般廃棄物の分別収集の徹底と事業所系ゴミの適正な処理、更には再資源比率の向上を目指し事業活動を行っている。資源循環型社会が望まれる今、その社会的役割と責務は極めて重要であり、良好な生活環境の保全の一翼を担う組合として期待は大きい。事務局長として組合事務全般を任されている田畑さんに現在までの組合の活動状況等について話を伺った。

「設立当時は行政で廃棄物の処理に関する計画の策定や再生利用、適正処理を進める取り組みが始まっていた。前橋市は、事業所系ゴミの

約九割が一般ゴミとして処理され、ゴミ量の増大、処理コスト増大の中で、その減量化に苦慮していました。行政としては量的増加だけでなく質的にも多様化している事業所系ゴミの処理対策を早急に解決する必要があり、市内の廃棄物処理業者に適正かつ有効な処理を期待していました」と設立時の状況を説明頂いた。続いて設立後の状況について、「行政による収集の対象外となっている一般家庭の引越しや移転によって排出されるゴミ類、事業所や飲食店等の排出物の収集・運搬業務などを共同受注しています。また、平成十一年度から前橋土木事務所の委託を受け、市全域に亘る河川や道路などにある不法投棄廃棄物の収集運搬と処理業務も請け負っています。ボランティア団体との地域



清掃ボランティアに励む組合員

清掃活動にも組合一体となつて積極的に参加しています。子供から大人まで私達の活動を見て、一人一人が環境を意識して行動できる社会を真に願い活動を続けています。共同受注の他は、ゴミ袋等の共同購買事業や教育情報事業も活発です。私達の業務は法律を熟知しておかなければなりません。廃棄物処理法は、政令、規則、通達に運用を委ねている部分が多く複雑で難解なものになっています。講習会等を通じて組合員の知識を養っています」と活動状況について幅広く説明頂いた。最近の話題についても、昨年六月に、自己啓発的な活動に専念することを活動指針として組合青年部が発足しました。初年度は視察研修会と講演会を一回ずつ開催するに留まりましたが、近い将来を担う若手が一致協力して組合を盛り立てて



田畑事務局長

くれるものと期待しています」と話してくれました。

今後の事業展開については、「先ず、組合財政基盤強化を図るためにも、引き続き賛助会員を含め組合員の増強を行っていきます。同時に継続的・安定的な受注を確保すべく行政が行う清掃業務の民間委託をより一層強く要望していきます。市当局及び排出事業所との連携を強化したうえで、新たなゴミ処理システムの構築も目指していきたいと考えています。環境保全のプロ集団として社会に存在感を示し、廃棄物処理業の必要性を更に高めていくことが重要です」とお話頂いた。お話のなかで受注に関する数多く書類等を見せて頂き、細かな書類作成もそつなくこなしている田畑さんは組合員から厚い信頼を得ていると感じられた。

理事長	横澤義夫
所在地	〒三七九 二一五二 前橋市下大島町一七
概要	
電話	〇二七 二六三 二七一
FAX	〇二七 二六三 二七一
設立	平成八年十二月二十六日
組合員	四十人
業種	一般廃棄物処理業

全国事例

組合情報

エコポイント制度を導入

東京都

「鷹番三丁目日本通り商店街振興組合」では、商店街でエコロジー活動に貢献した顧客にポイントを与える「エコポイント制度」を導入した。

ポイントがもらえるのは、飲食店に自分の箸を持参したときや、レジ袋の持参、定食を食べ残さなかったときなど様々。たまったポイントに応じて、参加店独自の商品・サービスで還元してくれる。

また、エコロジー活動を活性化につなげようと「エコフェスティバル」なども開催している。将来的には、参加店の数を商店街の加盟店全店に広げていきたい考え。
フリースクール開講

栃木県

「協同組合口専連宇都宮」は、宇都宮中心部にある恵まれた立地条件を生かし、地域住民との連携を深めようと、不登校児童のためのフリース

クールを開設した。

利用機会の減った本部ビル三階の会議室を改装。そこを教室にし、基本的に月曜から金曜の午前十時から午後三時まで開講する。

事務局にプロジェクトチームを設け、託児所経験者を専門指導員として採用した。主に中学生の利用を想定し、ひきこもりの児童を外出させ、集団生活になじめるように手助けを行っていく。

ネット販売始める

京都府

「京都工芸染匠協同組合」では、インターネットで着物を販売する「京友染匠匠きものショップ」を開設した。

ネットショップには、「オークション」「新作コレクション」「オーダーメイド」などの多彩なメニューが設けてあり、オーダーメイドのコーナーでは、柄と地色を自分の好みで選択でき、オリジナルの着物を注文できる。

また、会員になると専用ページで限定商品をいち早く知らせてくれるほか、会員様ご相談掲示板で創り手の染匠が直接相談に応じてくれるなどのサービスが受けられる。

組合運営

Q & A

与信管理について

景気低迷で企業の倒産が増加しています。取引先企業等の与信管理のポイントについて教えてください。

与信管理について

与信管理の第一歩として、有利子負債率と固定比率を重要視することが考えられます。有利子負債率とは、負債に占める借入金額の割合、固定比率とは自己資本に占める固定資産の割合です。倒産企業はこの有利子負債率が五〇%を超えている企業が大半を占めています。固定比率もかなりの高率になっていることが多いようです。

また、取引先企業の商業登記簿（現在事項全部証明書）について、次の三点を常にチェックしておくことが肝要です。

商号・本店所在地が頻繁に変更されていないか
急に資本金が増えていないか（急

に増えた場合は、何らかの救済措置が取られている可能性もある）
金融機関から派遣されていた役員等が最近退任していないか
営業マンは情報マン

営業担当者は、常に取引先の経営状況について神経を尖らせておくことが必要。特に、次の点に気付いたときは、早急に対応を検討するべきではないでしょうか。

事務所の雰囲気が変わった

社長の話の中に夢や考え方が不明確で、経営姿勢が前向きでない社内にはウサン臭い者が出入りしている

通常の支払日以外に支払を起している

関係者から「ボーナスが出ない」「給与の遅配が目立つ」等の愚痴が出ている

取引先が急に変わった

前例のない大口の受注が入った
不良債権額が月商の六月相当額以上になっている

なお、債権回収にあたっては経営破綻した企業の再建策も考えることが必要。民事再生法の立法精神からしても、単なる債権回収のみに奔走することは慎むべきでしょう。



「合同火災訓練」を実施

草津温泉旅館協

草津温泉旅館協同組合（市川捷次理事長・組合員百二十二名）では、六月十二日、草津町のホテル高松において、組合主催の「合同火災訓練」を実施し、ホテル内に取り残された宿泊客の非難誘導や救命救急措置などをを行った。

火災訓練は、ホテルの宿泊客らの安全と組合員の防災意識を高めるため、年一回実施している。



合同火災訓練の様子

今回は、組合員をはじめ、旅館関係者や地元の消防署員・消防団員のほか、長野原署員らが参加し行われた。

ホテルの六階の客室から火災が発生したことを想定して行われた訓練は、客室に取り残された宿泊客に扮した参加者たちを、はしご車で救出するなど本番さながらに行われ、参加者は皆、緊張した面持ちで取り組んでいた。

また、今回初めて、救命救急処置の訓練も行い、ダミー人形を使って人工呼吸の仕方を真剣な表情で学んでいた。

「ゆったり温泉宿泊プラン」のご案内

群馬県温泉旅館協

群馬県温泉旅館協同組合（木村七郎理事長・組合員百九十九名）では、五月三十日から九月三十日まで、草津温泉・伊香保温泉・水上温泉・川原湯温泉など、バラエティに富んだ群馬の温泉宿を特別プライスで宿泊できる「ゆったり温泉宿泊プラン」をご案内している。

プランは二種類「い〜宿湯ゆったり温泉プラン」では、休前日を除くいずれも平日プランで、一泊二食付（サービス料込み・税別・大人お一人様料金）で、二名様一室利用の場合、八千円から一万五千円まで、三名様一室利用の場合は、七千円から一万四千元という格安料金で、厳選した宿に宿泊できる。

たまには贅沢に温泉を満喫したい人向けに、ひとクラス上のくつろぎを、特別なおもてなしで迎えてくれる「スペシャルプラン」も用意してある。

詳しくは、同組合作成のパンフ



群馬の温泉を満喫できるパンフレット

レットまたは、ホームページアドレス <http://www.rain.com/onsen/> まで。

「二十八回群馬県美容コンクール」を開催

群馬県美容業生活衛生同

群馬県美容業生活衛生同業組合（松本一郎理事長・組合員二千二十四名）では、七月十四日、前橋市の前橋市民文化会館において、第二十八回群馬県美容コンクールを開催した。

美容コンクールは、今回で二十八回を迎え、技術の向上による業界の



白熱した競技の様子

活性化を目指して毎年開催している。今回は、県内の美容師と県美容専門学校生徒合わせて約百名が参加し、七部門の競技に分かれ、技術や着付けの美しさを競い合い、白熱した競技が行われた。

コンクールは、「ユース」「コンシューマー」「カット&ブロー」「中振袖着付」の四部門の上位入賞者は、十月に行われる関東大会及び、十一月の全国大会に出場できる。

会場には熱気が溢れ、全国大会という晴れの舞台に出場するため、選手たちは皆、日頃の練習の成果を百パーセント出そうと真剣な表情で競技に挑んでいた。

「ジャズフェスティバル」開催

桐生中央商店街振

桐生中央商店街振興組合（小泉隆司理事長・組合員三十八名）は、七月二十七日、同市本町五丁目ジョイタウン広場において「ジャズフェスティバル」を開催した。

ジャズフェスティバルは、空洞化が進む中心街を音楽によって活性化させようと今回初めて企画され、沢山の人が賑わいをみせた。

ライブは、午後一時から、杉山清彦クインテットを始め、アライフファミリー&フレンズ、デイキシー・ダウンビーツ、群馬大学GKオーケストラズなど八バンド約七十人が出演し、午後八時まで、大変な盛りあがりを見せた。

ジョイタウン広場には、この日を楽しみにしてきたジャズ好きな人や、また日曜日とあって、音楽に誘われてきた買物客らの姿も多く見られた。

また、NPO法人桐生地域情報ネットワークの協力で、ライブの映像

を同組合のホームページ上からネット配信で視聴できるなどの新しい試みも実践し、大盛況のうち終了した。



ジャズを楽しむ

「夜店」を開催

富岡市商店街サービ

富岡市商店街サービス事業協同組合（春田充雄理事長・組合員五十七名）では、七月二十日、富岡商工会館駐車場において恒例の「夜店」を開催した。

午後四時から始められた夜店に

は、焼きそば、お好み焼き、かき氷などの模擬店が多数出店し、食欲を誘っていた。

また、豪華景品が沢山当たるゲーム大会なども行われ、子どもたちが熱中していた。

更に、浴衣を着て来場した先着二百名のお子様には、花火セットがプレゼントされることもあって、家族全員で浴衣を着て楽しんでいる姿も多く見られた。

子供たちには夏休みに入った初めての日曜日、しかも三連休の中日とあって、家族連れが多く訪れ、蒸し暑い夏の夜のひとときを楽しく過ごしていた。



賑わう「夜店」